

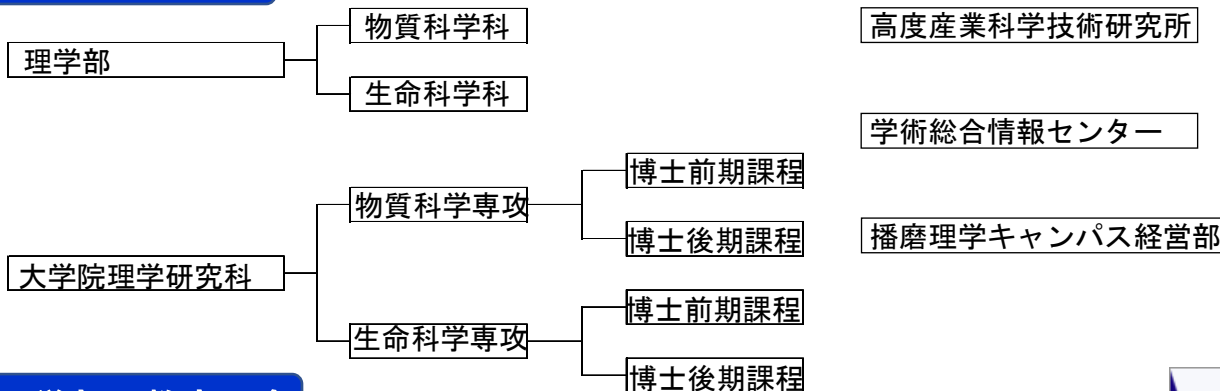
兵庫県立大学 播磨理学キャンパスの取組について



令和7年12月24日

兵庫県立大学 播磨理学キャンパス概要

キャンパスの組織



理学部の教育理念

自然科学の諸分野の基礎を幅広く研究し、教育する。

《学びの特色》

- ①学際的な研究と教育を行う。
- ②最先端の研究を推進し、それを背景とした教育を行う。
- ③兵庫県の先端科学技術振興を担う人材を育成する。

沿革

昭和60年 4月	姫路工業大学 工学基礎研究所開設
平成2年 4月	理学部設置（物質科学科・生命科学科）
平成3年 4月	播磨光都キャンパス竣工
平成6年 4月	大学院修士課程設置（物質科学専攻・生命科学専攻）
平成8年 4月	「大学院理学研究科修士課程」を「同博士前期課程」に名称変更 大学院理学研究科博士後期課程設置（物質科学専攻・生命科学専攻）
平成11年 4月	連携大学院開設
平成14年10月	21世紀COEプログラム（生命科学分野）の指定
平成16年 4月	県立3大学の統合により、兵庫県立大学を開学 大学院物質理学研究科・大学院生命理学研究科を設置
平成19年 4月	ピコバイオロジー研究所設置
平成19年 6月	グローバルCOEプログラムに採択
平成23年11月	博士課程教育リーディングプログラムに採択
平成25年 4月	兵庫県立大学が公立大学法人に移行 大学院生命理学研究科に5年一貫制のピコバイオロジー専攻を設置 物質理学研究科にフロンティアコース、生命理学研究科にピコバイオロジーコースを開設 大学院理学研究科（物質科学専攻・生命科学専攻）を設置 物質科学専攻、生命科学専攻の融合点として、情報理学研究室を設置
平成31年 4月	
令和3年 4月	
令和3年10月	



キャンパスの配置図

播磨理学キャンパス 学生数・教職員数 (R7・4・1現在)

学 生 数

学 部 等		1年生	2年生	3年生	4年生 以上	合計
理 学 部		175	172	192	208	747
理学研究科 物質科学専攻 理学研究科 生命科学専攻 理学研究科 物質科学専攻 理学研究科 生命科学専攻 合 計	前期	34	30	1		65
		32	21	1		54
	後期	4	8	4		16
		6	6			12
						894

教 員 数

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
理学研究科 物質科学専攻	18	17		12	47
理学研究科 生命科学専攻	13	12	1	11	37
高度産業科学技術研究所	5	2		3	10
合 計	36	31	1	26	94

職 員 数

区 分	職 員	事 務 嘱託員等	合 計
合 計	13	27	40

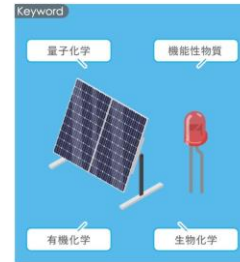
物質科学科・生命科学科の特色について

- 伝統的な学問の枠組みを越え、物質と生命の学際的な視点から教育・研究を行い、新たな科学領域を切り拓き、社会を牽引できるリーダーを育成
- 大型放射光施設「SPring-8」、X線自由電子レーザー施設「SACLA」、西はりま天文台「なゆた望遠鏡」など、兵庫県内にある世界最先端の研究施設が利用可能

物質科学科の特色

——物質の本質とメカニズムを追究し、総合的に活用する柔軟な発想を学ぶ

- ① 最先端科学技術を修得し、新しい領域を開拓する科学者へ
- ② 物質の物性と反応に関する、深い理解と洞察力を身につける
- ③ より専門性を深めたきめ細かなコース設定（「物性基礎」、
「物性」、「物質」）で、多様な選択が可能に



生命科学科の特色

——生命現象への深い理解と洞察力を身につけた、世界に通用する人材の育成を目指す

- ① 世界トップレベルの研究に基づいた教育
- ② 急速な生命科学技術の進歩を先導する人材育成
- ③ 生命現象への深い理解と洞察力を養うカリキュラムを配置
- ④ 学生一人ひとりの志望・適性に応じた3つのコース（「生体物性」、
「生体分子」、「細胞」）を設定



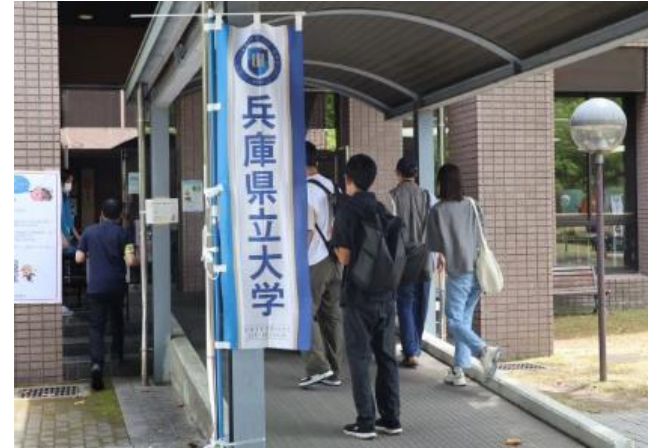
理学研究科の取組事例 ①

オープンキャンパスの開催

高校生、保護者等を対象に、オープンキャンパスを開催

- ・理学部や入学試験の概要、教員免許取得の説明
- ・研究室や学生寮の見学
- ・相談コーナーの設置(入試、就職、学生生活等について先輩学生、教職員が回答)

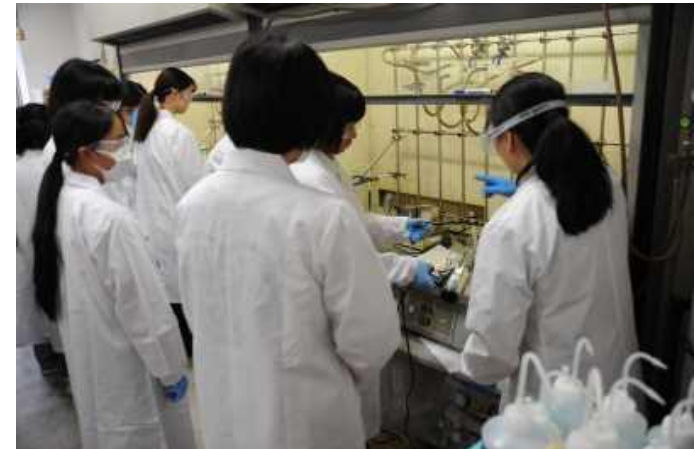
※R7年度:697名が参加(R7. 8. 8開催)



夏のリコチャレの受入

女子中学生を対象に、理工系分野に興味・関心を持ってもらうことなどを目的として、研究室見学、模擬実験、交流会を実施

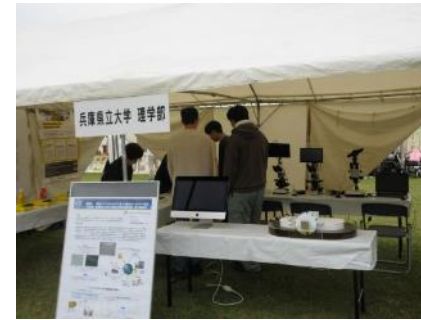
※R7年度:たつの市内在住・在学の女子中学生12名が参加
(主催:たつの市。R7. 8. 26開催)



理学研究科の取組事例 ②

西播磨フロンティア祭への出展

播磨科学公園都市のにぎわい創出等を目的に開催される「西播磨フロンティア祭」に出展
 ※R7年度：顕微鏡による葉脈標本の観察、天体観測等を実施
 （R7. 10. 24開催。イベント全体の来場者約1万6千人）



サイエンスカフェの開催

小・中・高校生、保護者を対象にサイエンスの楽しさを体験してもらうことを目的に開催
 ※R7年度：R7. 11. 1開催。参加者68名

第一回 カフェ・カガク・コウト
 わたしが主役！ Science for Future
 ウッ？ ホント！ 驚異的な再生能力で有名なプラナリア。その一般知識や再生の不思議、さらには、現役研究者ならではの知っている面白い話をご紹介します。え？ 期待！！
 日時：2025年11月1日（土） 13:30～14:30
 場所：ケミプロ化成 先端科学技術支援センター セミナールーム1
 講演者：梅園良彦（うめそのよしひこ）博士（兵庫県・院理）
 進行役：後藤忠徳（ごとうたけのり）博士（兵庫県・院理）
 対象者：小中高生および一般
 ※ 小学生3年生以下は保護者の同伴が必要
 ※ 先着80名（人数制限あり）
 参加費：無料
 参加申し込み：参加登録フォーム
<https://forms.gle/x3U97yqtM9kXXd9A6>
 ※ お手数ですが、1名ずつお願いいたします。
 主催：兵庫県立大学・大学院理学研究科
 共催：光都わくわくラボ（代表：平田邦生）
 （兵庫県・令和7年度地域づくり活動推進事業）
 ケミプロ化成 先端科学技術支援センター
 後援団体：播磨広域事務組合教育委員会
 たつの市教育委員会
 上郡町教育委員会
 佐用町教育委員会



Spring-8夏の学校・秋の学校

全国の学生・社会人対象としたSPRING-8夏の学校・秋の学校の講師を理学研究科教員が務め、大学院教育の一環としている。
 ※R7年度：R7. 7. 6～9（83名参加）、9. 7～10（56名参加）



（SPRING-8 ウェブサイトより）

SPring-8利用に係る理学研究科の取組

- 理学研究科では、SPring-8に近接する地の利を活かし、同施設を用いて、理系人材育成や、多様な研究機関、企業等と連携した放射光の利用研究を推進
- 今後とも、学生、研究者が研究等のため、これまで以上にキャンパスとSPring-8を往来するほか、学外の方がキャンパスやSPring-8を訪問することにより、交流人口の増加を図り、播磨科学公園都市の活性化につながることを期待

放射光研究拠点の整備・活用

SPring-8敷地内に放射光研究拠点を整備し、学生をはじめ県内外の関係機関の研究者等と連携した研究のスペース、実験装置の保管、直前組立や打合せ等のスペースとして活用

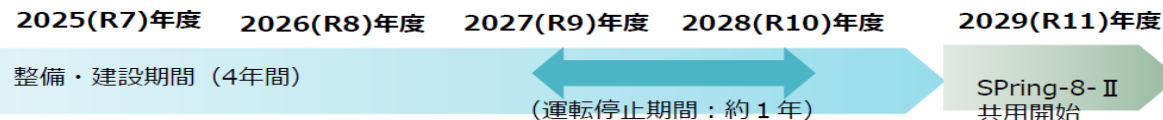


研究拠点

SPring-8-Ⅱの利用(2019年度～)

2029(R11)年度のSPring-8-Ⅱの供用開始の初期段階から、新光源の性能を活かした研究(フジビリティスタディ)で積極的にビームラインを利用するとともに、理研、JASRI等の関係機関と連携し、研究を推進

〔参考〕SPring-8-Ⅱの想定スケジュール:



(理研 SPring-8-Ⅱ シンポジウム資料(2023年8月)より)

県民向けセミナー等の開催

今後とも、物質科学・生命科学の研究内容を分かりやすく解説する県民向けセミナー、SPring-8やニュースバルの見学会等を検討

ご清聴ありがとうございました。